

学校教育目標	なかよく助け合う子 なんでもがんばる元気な子 しっかり考えて学ぶ子
目指す学校像	児童一人ひとりの可能性を伸ばす学校 ~誰もが通いたい、通わせたいと思う学校~

重点目標	1 学力の向上・基礎学力の定着 2 生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実、校内体制の確立 3 保護者、地域から信頼される学校づくりの推進 4 安全・安心な教育環境の整備 5 教職員の指導力向上と心の健康、居心地のよい (Well-being) 職場環境づくりの推進
------	---

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

年度		学 校 自 己 評 価			年度評価		学校運営協議会による評価
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 ○全国学力・学習状況調査結果 (R6 年度→国語・算数) について若干改善が見られたが市の平均を下回っている。 【課題】 ○各調査結果から、多くの児童に学力の基礎的・基本的事項の確かな定着がされていない。 ○児童が主体的な学び手となる必要がある。	・「学びのポイント (じ・し・や・く)」の視点による授業改善 ・学力の基礎的・基本的事項の確かな定着	① 校内研修において「学びのポイント (じ・し・や・く)」の視点によるICTの効果的な活用や授業改善に関する手立てを設定し、指導力向上を実施する。市教委に指導者を要請し、校内研修や授業研究会を実施する。 ② 朝学習 (国語・算数) を指導計画に位置付け、ドリルワーク等を活用し、計画的に練習を行うことで基礎学力の定着を実施する。 ③ 学習状況調査等の結果分析を基に授業改善を行う。	① 学校評価教職員アンケート「授業改善」に関する項目でA評価66% (R6:63%) ② 指導者を要請した校内研修や授業研究会を年間2回以上実施できたか。	① 学校評価教職員アンケート「授業改善」に関する項目でA評価72.7%と達成できた。 ② 指導者を要請した校内研修は1回、授業研究会は3回実施できた。	A	○校内研修において「学びのポイント (じ・し・や・く)」の視点による授業改善を引き続き継続的に研究し、実践する。 ○市学習状況調査の結果速報値では、基礎学力の定着が見られた。今後は朝学習に朝読書を位置付け、学力の定着と向上を図る。
2	【現状】 ○明るく元気に生活できている児童が多い。 ○休み時間や放課後は、校庭で活発に体を動かす児童が増えている。 ○数名の登校渋りの児童は、今年度登校できるようになってきている。 【課題】 ○自分の気持ちをうまく言葉で伝えられないことに端を発したトラブルが多い。	・児童一人ひとりへの細やかな教育支援・教育相談に向けた校内体制の充実	① 道徳授業や「いのちの支え合い」を学ぶ授業を中心とした心の教育と積極的な生徒指導を実施する。 ② 心と生活のアンケートや児童面談、スクールダッシュボードによる実態把握を確実に実施し、情報共有、ケース会議、校内委員会での協議に活用する。 ③ SC・SSW・さわ相や関係機関との連携、校内支援センター・教育相談室・Solaの一むの活用により、児童個々のニーズに応えるとともに児童の居場所づくりを実現する。	① 学校評価児童アンケート「児童のあいさつ・学校のきまり」に関する質問項目で、A評価50% (R6:47%) ② 学校評価教職員アンケート「児童のトラブルへの対応」に関する質問項目でA評価66% (R6:63%) ③ 学校評価保護者アンケート「児童のトラブルへの対応」に関する質問項目でA評価55% (R6:52%)	① 学校評価児童アンケート「児童のあいさつ・学校のきまり」に関する質問項目で、A評価56.3%と達成できた。 ② 学校評価教職員アンケート「児童のトラブルへの対応」に関する質問項目でA評価81.8%となり、達成できた。 ③ 学校評価保護者アンケート「児童のトラブルへの対応」に関する質問項目でA評価49.6%となり、達成できなかった。	B	○教職員と保護者の「学校のトラブルへの対応」についての評価に差がある。保護者への連絡と説明を継続して行い、信頼関係を深める。 ○「おはようメーター」については、教職員間の中で活用し、活用している教職員の活用例を広めたりしていく。
3	【現状】 ○学校運営協議会・いじめ対策委員会を年3回開催し、活発な熟議を行った。 ○サブテーマを「おもいやりは、愛いっばいの地域とともに」に定め、共通認識をもつことができた。 【課題】 ○サブテーマをさらに深めるため、各立場において具体的な取組を実施する必要がある。 ○保護者の学校運営協議会に関する認識度に課題がある。	・家庭・地域から信頼される学校づくり ・家庭・地域、学校の連携を強固にし、ともに児童を見守り育ていく学校	① 子どもをよりよく変容させることで、地域・保護者から信頼される学校づくりを実現する。 ② 学校だよりや学校 Web ページ、学校安心メールを活用して積極的に情報を発信する。	① 学校評価保護者アンケート「児童のあいさつ・学校のきまり」に関する質問項目でA評価56% (R6:53%) ② 学校評価保護者アンケート「学校からの情報発信」に関する質問項目でA評価63% (R6:60%)	① 学校評価保護者アンケート「児童のあいさつ・学校のきまり」に関する質問項目でA評価52.5%と達成できなかった。 ② 学校評価保護者アンケート「学校からの情報発信」に関する質問項目でA評価51.2%と達成できなかった。	B	○あいさつについて、課題が残る。引き続きあいさつ運動や児童への言葉かけ、継続する。 ○学校からの情報発信については課題が見られる。今後は、既存の機能をより効果的に活用するだけでなく、新しい電子媒体での情報発信を実施する。 ○「愛フェス」については、教職員の参加意欲も高い。今後は、他の具体的な取組も含め、それぞれの取組について学校運営協議会を通じて深化させていく。 ○管理職以外の教職員もPTA活動に多く参加するべきとの声がある。働き方改革とのバランスを鑑み、検討していく。
4	【現状】 ○年度末雨漏り等が原因の急な教室変更があった。児童の使用に支障がある教室等がある。 ○清掃活動を児童の自立の第一歩と考え、自分たちで学ぶ場を整えられるよう指導している。 【課題】 ○その都度学校施設管理課に報告しているが、立て続けに不具合が発生し、対応が追いつかない。	・安心安全な学校づくり ・日常的な教育環境の整備	① 安全点検を確実に実施して危険を未然に防ぐとともに、関係各所との連携を強化する。 ② 傷病者発生対応訓練や安全研修 (理科・図工・家庭科・体育) において、危険行為・危険個所の共通理解を図り、危機管理体制を確立する。	① 校内での児童の怪我 (4月~12月) を10%削減 (R6:285件) できたか。 ② 学校評価教職員アンケート「環境整備・安全に関する取組」に関する質問項目でA評価61% (R6:58%)	① 校内での児童の怪我 (4月~12月) は268件で3.9%増加し、削減できなかった。 ② 学校評価教職員アンケート「環境整備・安全に関する取組」に関する質問項目でA評価63.6%	B	○けがは、昨年度に比べ増加した。児童の不注意によるけがが多い。児童の行動を制限するのではなく、児童自らが考えて行動できるような指導場面を増やし、継続して行っていく。
5	【現状】 ○臨時的任用職員を含め、経験年数10年以下の教職員が半数以上を占めている。 ○何でも言い合える職場環境の中で、それぞれの職員が自分の役割を自覚して、日々の職務に当たっている。 【課題】 ○ICTの活用を図りたいが、ネットワーク環境の差の影響もあり、取組の差がみられる。 ○教職員としての資質を高めるための、自己研鑽に取り組むための余裕がない。	・自分に自信をもちながら、生き生きと児童に指導できる教職員の育成	① ICT等教員の必要に応じた研修を実施し、指導力向上を実現する。 ② 人事評価制度や研修の受講奨励により、教員一人ひとりが目標を設定し、年間を通して研修や授業改善に取り組むことで各自の資質向上を図り、学校の教育力向上に繋げる。 ③ 居心地がよく、風通しのよい職場環境づくりを実現する。(衛生委員会での協議、トイレ・更衣室の整備・美化、教職員間の相談しやすい雰囲気づくり)	① ICTサポーター等を活用したICT研修を年3回以上実施できたか。 ② 全ての教員が、自らの目標に向けて研修や業務改善に取り組み、90%以上の教員が目標達成を実感することができたか。 ③ 教職員アンケート「居心地の良い職場づくり」に関する質問項目でA評価が46% (R6:43%)	① ICTサポーター等を活用したICT研修を年3回実施できた。 ② 全ての教員が、自らの目標に向けて研修や業務改善に取り組み、100%の教員が目標達成を実感することができた。 ③ 教職員アンケート「居心地の良い職場づくり」に関する質問項目でA評価が70%と大きく達成できた。	A	○児童の学びの定着のために来年度実施する通知表2回制が、教職員の負担増加につながるよう業務改善を継続する。 ○今後児童のタブレット端末の更新があり、さらなる研修が必要となる。新たな端末へ対応できるよう、年度末から研修を行い、次年度、滞りない端末更新に繋げる。

学校運営協議会からの意見・要望・評価等

・メンターメンティー研修を活用した学校課題研修は、子どもたちの学力向上のために有効であると感ずる。継続して取り組んでほしい。  
 ・あいさつについては、校内や顔見知りにはあいさつができていない。知らない人へのあいさつは地域の治安維持につながるため、今後も取組を続ける必要がある。  
 ・「トラブルの対応」については、保護者の納得のいかない対応もあつたと聞いている。粘り強く対応し伝え続けることで、理解が得られるようになるので継続を望む。  
 ・「愛フェス」に教職員が多教参加してもらえたのは、地域として大変ありがたいので、例えば運動会のおそろいのTシャツを着る等の工夫をするなどよい。ただ、参加については、土日は十分休養していただき平日の授業に尽力していただきたい。無理のない参加でよいと思う。また、保護者の活躍できる場もあるとよい。  
 ・民生委員との連絡会を実施していただいたのはよかった。今後も継続してほしい。  
 ・校舎の老朽化が激しい中で、保護者地域の方の支援を受けながら、子どもたちの安全・安心に努めてほしい。  
 ・タブレットを活用した授業については、諸外国では学力低下や集中力欠如につながるため紙に戻していると聞く。必要に応じて無理のない範囲で取り組んでもらいたい。  
 ・教職員の雰囲気の良いことが行事等で感じられた。チームワークが結束されている成果であると感ずる。